

一茶ゆかりの里四季の俳句会（平成三十年一〜三月分）

選者 高山俳壇 松本孝夫 先生

特選天 書き出しは桜のことや慶事文 愛知県 平野辰美

雪や寒さが過ぎて桜の時となり、入学や入社の祝い事には適した季節であり、又新たな思いが沸き立つのである。

特選地 我が里や天気凶いつも雪たるま 長野市 浦野スミ子

此の地に生れ、此の地に育ち今に至って居る。天気凶を見るとまだまだ続く雪の日であるが此の地を離れてふる里を見守る姿くつきりと窺える。

特選人 国沸かし笑顔に涙冬五輪 群馬県 竹淵てる子

日本人は言うまでもなく況して長野県民は大いに湧いた大会であった。韓国の平昌での冬季五輪で日本は金4銀5銅4、パラリンピック金3銀4銅3

入選 粕汁や昭和を生きし母の味 高山村 佐藤喜代美

入選 春泥を来て春泥を帰りけり 群馬県 鈴木百合子

入選 繭玉に絹の光沢ありにけり 群馬県 福嶋ふさ子

入選 剣道の子に叩かれる氷柱かな 群馬県 滝沢照香

入選 海の幸山の幸詰め恵方巻 群馬県 田村洋子

入選 膝痛も腰痛変わらず新年度 群馬県 土屋はじめ

入選 愛犬にシャンプー、カットのお年玉 群馬県 仙田美名代